

# GPSアンテナの取り付けかた

## 取り付ける前に

設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。  
気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

## 車外に取り付ける場合（推奨）

### 1 ルーフの平らな面に取り付ける。



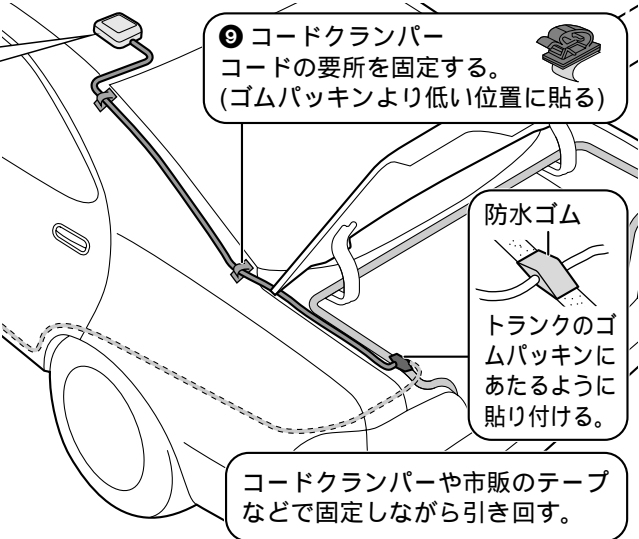
ルーフキャリアの近く、またはトランクリッドなどに取り付けると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。

### お願い

GPSアンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。洗車などのときは、必ずGPSアンテナを取りはずしてください。取りはずすときは、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。

### 2 トランクに雨水が入らないようにコードを引き回す。

トランクリッド開閉時に、コードに無理な力が加わらないよう、ゆとりを持たせてください。



## ダッシュボードやリアトレイの上（中央部のガラス付近）に水平に取り付ける

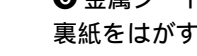
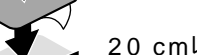


コードをドライバーなど先のとがったもので押しすぎたりしないでください。コードが傷つき故障の原因になります。

### ⑨ コードクランパー 要所を固定する。



### ④ GPSアンテナ



### お知らせ

車内にGPSアンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。車体の形状や電波を通さない一部のウインドウガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」（操作編）に相談してください。自車位置の測位精度をさらに高めたいときは、別売の自立航法ユニット（CY-SG50D）を使用してください。

### お願い

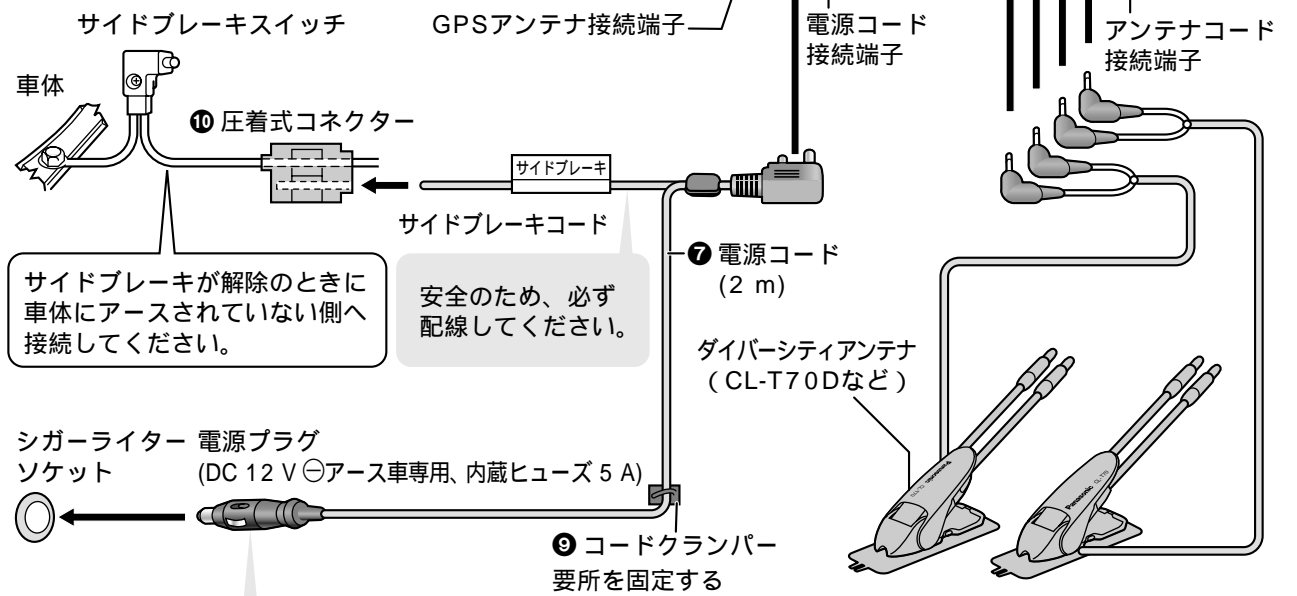
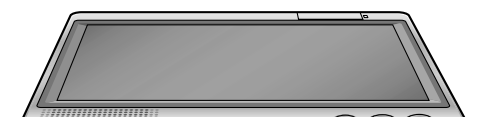
金属シートは、  
・必ず、付属の金属シートを使用してください。  
・折り曲げたり、切って小さくしないでください。  
あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーション本体から30 cm以上離してください。  
GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。故障したり、使えなくなる場合があります。

# 配線のしかた

## ④ GPSアンテナ（コード 6 m）



## ① ナビゲーション本体（底面）



サイドブレーキが解除のときに車体にアースされていない側へ接続してください。

安全のため、必ず配線してください。

シガーライターソケットの奥までしっかり差し込んでください。（接触不良の原因になることがあります。）

一部の車種では、電源プラグを差し込む角度によって、接触不良を起こしたり、通電しなくなる場合があります。

そのときは、シガーライターソケットの端子の位置を確認し、電源プラグを通電する角度に調整してください。

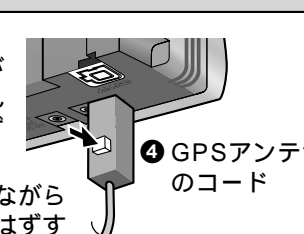


スライドスイッチについて  
ほとんどの車はN側で使用できますが、欧州車などソケットの口径が大きい場合は、W側に切り替えてお使いください。



## ロック付きコードの取りはずしかた

無理に引っ張ると、破損することがあります。必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。



## 圧着式コネクタの取り付けかた

